

「汚染水処理対策委員会」の設置について(案)

平成 25 年 4 月 19 日

東京電力福島第一原子力発電所廃炉対策推進会議

1. 概要

福島第一原発汚染水処理について、これまでの対策を総点検し、汚染水処理問題を根本的に解決する方策や、今般の汚染水漏えい事故への対処を検討するため、原子力災害対策本部に設置されている「東京電力福島第一原子力発電所廃炉対策推進会議」の下に、「汚染水処理対策委員会」を設置し、早急に検討を開始する。

2. 委員構成等

委員長：	大西 有三	関西大学 特任教授、京都大学 名誉教授
委員：	出光 一哉	九州大学大学院 教授
	西垣 誠	岡山大学大学院 教授
	米田 稔	京都大学大学院 教授
	山本 一良	名古屋大学 理事・副総長
	大迫 政浩	(独)国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター長
	藤田 光一	国土交通省国土技術政策総合研究所 研究総務官
	山本 徳洋	(独)日本原子力研究開発機構(JAEA) 再処理技術開発センター 副センター長
	小林 正彦	(株)東芝 原子力事業部 技監
	石渡 雅幸	日立GEニュークリア・エナジー(株)シニアプロジェクトマネージャ
	鎌田 博文	(一社)日本建設業連合会 電力対策特別委員会 委員
	相澤 善吾	東京電力(株) 代表執行役副社長
	中村 紀吉	東京電力(株) 原子力・立地本部 部長
	中西 宏典	経済産業省 大臣官房審議官(エネルギー・技術担当)
規制当局：	山本 哲也	原子力規制庁 審議官

※ 必要に応じて、委員の追加を行う。

その他、オブザーバーとして、文部科学省、国土交通省、環境省、福島県が参加する予定。

3. 議題

(1) 当面の対応

- ① 地下水流入により増加している汚染水処理への日々の対応
- ② 地下貯水槽から地上タンクへの移送
- ③ 汚染水貯蔵計画の策定と地上タンクの増設
- ④ 漏えいした汚染水のモニタリング、周辺環境への影響評価

(2) 短中期的な対応

- ① 地下水の流入抑制(地下水バイパス、サブドレンの復旧)
- ② 多核種除去設備の早期の安定運転への移行
- ③ 海側遮水壁の設置

(3) 中長期的な対応

<早急に検討すべき事項>

- ① 地下水の流入抑制のための抜本策の検討
(陸側遮水壁の再検証、建屋止水、高濃度汚染水の水位低下等)

<継続的な検討事項>

- ② トリチウム処理対策

以上